

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

Introduction of "Kohei Ohtsu collection"

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井関, 俊夫 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/1685 |

[寄稿]

「大津皓平文庫」のご紹介

東京海洋大学 海事システム工学部門教授 井関俊夫

Introduction of “Kohei Ohtsu collection”

Toshio ISEKI

2018年6月25日、「大津皓平文庫」が東京海洋大学附属図書館越中島分館にオープンしました。既に利用された方も多いと思いますが、改めてこの場をお借りして、「大津皓平文庫」についてご紹介させていただきます。

「大津皓平文庫」は、2016年1月18日に72歳で急逝された大津皓平名誉教授のご遺志に従い、ご令室の大津衣映様からのご寄付によって誕生しました。具体的には、「海洋工学部における教育研究を、図書、資料等の充実をもって支援する」ことを目的とするもので、1,500万円が海洋工学部に寄付されるとともに、大津衣映様と塚本達郎海洋工学部長との間で覚書が交わされました。その覚書の主な内容は以下の通りとなっています。

- ・ 寄付金は主に高額で入手が困難な図書、資料（電子データを含む）の購入と、それに必要な経費に使用し、10年を目途に使い切る予定とする。
- ・ 海洋工学部内に専門の委員会を設置し、上記目的に沿った図書、資料の選定を行う。
- ・ 購入した図書、資料は東京海洋大学附属図書館（越中島分館）に寄贈するものとし、他の図書、資料と同様に学外も含め貸し出しできるものとする。
- ・ 故大津皓平名誉教授より寄贈された個人的蔵書も、上記図書、資料と同様の管理等を行う。

このような主旨で寄付された「大津皓平文庫」は、昨今、予算が逼迫する国立大学の教育現場においては非常に有難く、学生の教育研究に直結する貴重な存在であると言えます。

大津衣映様からのご寄付が「大津皓平文庫」として結実する過程では、大津先生の東京商船大学時代の同期生である山本勝氏と藤崎晃氏、さらに中学校・高等学校の同級生の津田由紀夫氏、ならびに長年の共同研究者である織田博行氏と大津教授秘書の織田美千子氏ご夫妻からご協力を賜りました。最初に大津衣映様からのご寄付のご意向を知ったのは、2017年4月の「第2回大津会」での津田氏のお話からでした。「大津会」というのは、大津先生急逝の3か月後に執り行われた「大津皓平先生を偲ぶ会」の実行メンバーが、年に1回、大津先生の思い出を語り合おうという主旨で始まった会で、上記5名の方々と、研究室代表として、南清和教授と私が参加させて頂いています。その「第2回大津会」の後、寄付の具体的な方法等をご提案するために、頻繁に大津会メンバーによる打合せが行われるようになり、8月上旬に初めて山本氏から「大津皓平文庫」設置の構想が提案されました。後日、大津衣映様から全面的なご賛同頂いたことから、岩坂直人附属図書館越中島分館長に調整をお願いし、急速に事態が進展することになりました。そして、大津先生の三回忌となる2018年1月18日に、寄付金の贈呈式と本学からの感謝状贈呈式が行われる運びとなりました。

寄贈された275冊にのぼる大津先生の個人的蔵書は、和書洋書を問わず、本学の教育研究に深く関連するものに厳選されていますが、それでも数学、統計確率論、制御工学、流体力学、船舶工学・船舶運用に関する教科書類に始まり、経済学、天文学、免疫学に生態学、ひいては歴史に名を遺した偉大な人物の伝記に至るまで、多種多様な書物が含まれており、いかに大津先生の興味が多岐に亘っていたかを

うかがい知ることができます。

2018年10月4日には第1回大津皓平文庫選定委員会が開催され、寄付金で購入する図書が初めて選定されました。そして、11月20日には最初の購入図書として78冊がめでたく配架されました。最近ではインターネットの発達で、文献検索・閲覧が手軽に行えるようになってきていますが、印刷された書物を実際に手にとってページを開けば、コンピュータ画面上で眺めるよりも著者の存在を身近に感じることができ、学習効果も一段と向上すると思います。今後、「大津皓平文庫」が数多くの学生の勉学を助け、末永く成長を見守ってくれることを思うと、大変心強く感じる次第です。是非一度、皆さんも東京海洋大学附属図書館越中島分館に足を運んでみて下さい。



平成30年6月25日に行われた「大津皓平文庫」のお披露目式
(写真右から、大津衣映令夫人、織田博行氏、藤崎晃氏、津田由紀夫氏、井関（筆者）、山本勝氏、織田美千子氏、南清和教授、塚本達郎海洋工学部長、竹内俊郎学長)



2018年11月20日に配架された「大津皓平文庫」の最初の購入図書

【大津皓平先生略歴】

- 1962年：大阪府立豊中高等学校卒業
- 1967年：東京商船大学商船学部航海学科卒業、同大学航海学科助手、甲種二等航海士
- 1971年：文部省内地研究員（運輸省船舶技術研究所）
- 1975年：東京商船大学商船学部助教授
- 1977年：東京商船大学附属練習船「汐路丸」船長併任
- 1982年：工学博士号取得（船体運動の統計的解析と最適操舵に関する研究：東京大学）
- 1987年：文部省在外研究員（スウェーデン・ルンド大学客員研究員）
- 1988年：文部省統計数理研究所併任
- 1989年：東京商船大学商船学部教授
- 1993年：東京商船大学附属練習船「汐路丸」船長併任
- 1994年：社団法人日本航海学会理事（～2000年）
- 2000年：東京商船大学副学長（研究担当）併任（～2001年）
- 2000年：社団法人日本航海学会会長、国際航法学会（IAIN）副会長（～2002年）
- 2001年：東京商船大学海事交通共同研究センター長併任（～2003年）
- 2003年：東京海洋大学海洋工学部長併任（～2005年）
- 2006年：東京海洋大学定年退職、同大学名誉教授、同大学院海洋科学技術研究科特任教授
- 2010年：大阪大学招聘教授併任（～2011年）
- 2010年：中国湖南省中南大学客座教授併任（～2015年）
- 2013年：株式会社大津海事研究所設立 代表取締役社長就任